



能登半島地震から

1/1の能登半島地震で被災された皆様に、改めてお見舞い申し上げます。

城北病院・診療所でも、発災当日はエレベーターが止まったり、使用していた井戸水が濁り飲水できなかつたり、壁のヒビや棚が倒れ、物が散乱するなどの被害に見舞われました。当日より、病院近くの避難所になっている浅野町小学校に医療班を派遣し、体調不良を訴えておられる地域住民の方の支援を行いました。

また、DMAT等からの依頼で、能登地域の病院や施設、避難所からの入院患者の受け入れ、金沢に避難されてきた方の外来診療の対応など、刻々と状況が変わる中で、必要な対応を行ってきました。また、JMATやJRATなどの依頼に応え、職員の派遣も継続しています。



まだまだ、復旧は始まったばかりで、困難な状況は続いておりますが、こんなときだからこそ、地域の関係機関の皆様と連携しながら地域医療・介護・福祉を守り安心して住み続けられる地域づくりに貢献していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお祈りいたします。



私たちがめざすもの

医療福祉宣言

城北病院 城北診療所

私たちは、ヘルスプロモーションホスピタルとして地域の皆様、他の病院や施設と共同してネットワークをつくり、無差別・平等の地域包括ケアを実践し、平和で安心して住み続けられるまちづくりに努めます。

発行 城北病院 医療福祉連携相談室

〒920-8616 金沢市京町 20-3
TEL 076-251-6111 FAX 076-208-5231
<http://johoku-hosp.com>
E-mail renkeisitu@johoku.jp



医療福祉連携相談室だより

JO-HOKU No.70

2024.5.15 spring

被災者に寄り添い、地域医療に貢献できるように

城北病院 院長
大野 健次



令和6年能登半島地震で亡くなられた方のご冥福をお祈りいたします。また被災された方へ心からお見舞い申し上げます。私は1月1日の16時10分地震が起きた時は城北病院で日直をしていました。病院自体への被害は少なかったものの恐怖を感じるような揺れでした。金沢は震度5強、能登は震度7で、能登の方の恐怖は計り知れないものがあると思います。当院の役割として1次2次救急をうける、被災した方々の診療を行うなどありますが、1月2日以降は多くの救急車を受け入れることとなり入院ベッドも満床となり一部オーバーベッドの対応も行いました。1月～3月の3か月間は、全日本民医連から毎日看護師4名・医師2名の派遣をうけてなんとか頑張ってきました。

また、当院ではJMAT・JRATなどの震災派遣についても積極的に協力をしてきました。私自身も1月13日の1.5次避難所のスポーツセンターを担当したり、3月28日 29日は珠洲市の開業医のクリニックへの支援を行ってきました。もう4月に入る時期なのに能登の復興はまだまだかかるという事を実感して帰ってきました。

この原稿を書いている4月15日現在でも、能登からの避難者の方が継続的に外来にいられています。高血圧で通院することになった能登の漁師で再開の見込みが立ってないため能登に戻りたくても戻れない方や、一人暮らしで頑張ってきたが半壊で住めなくなり途方に暮れている方などをお見かけすることがあります。今回の震災で改めて病院の役割を再認識することができました。今後は、被災者に寄り添い地域医療に貢献できるように、当院の体制を再度整える必要があると考えています。職員一同頑張りますので、よろしくお願いいたします。

特集

新入職員

しょうかい

2024年度

20名の新入職員 を迎えました!



城北病院・診療所では、医師3名・看護師5名・薬剤師1名・検査技師1名・管理栄養士1名・理学療法士3名・作業療法士3名・事務1名、計20名の新入職員を迎え出発しました。

新入職員は、4/4までオリエンテーションを実施し、城北病院・診療所の歴史や、就業規則、個人情報について、労働安全、防災について、医療倫理など社会人としてまた城北病院・診療所の職員としての心構えを学び、新たな一歩を踏み出しています。

COVID-19が5類になり初めてのオリエンテーションとなったため、この間中止していた「地域散策」も行いま



した。当日はあいにくの雨天のため、病院の屋上より友の会の会員さんを案内役をお願いし説明していただきました。新入職員からは、「地域の歴史や地域の人々にとって城北病院がどういう存在か触れることができた」「城北病院は住民の方なしに成り立たないし、住民の方にとっても城北病院はなくてはならない存在であることを実感した」という感想もありました。

オリエンテーションでは、チームワークを高めるゲームも所々に交えながら、同期の絆を深めることもできました。地域の皆様の期待に応える職員に成長してくれることを願っています。

新 医師 しょうかい

introduction

リハビリテーション科



とりこえ けいいちろう
鳥越 恵一朗

令和6年1月から入職しました鳥越恵一朗と申します。元々専門は脳神経外科で約20年間急性期治療に携わっておりました。急性期治療の中でリハビリテーションの重要性を痛感し、この度リハビリテーション専門医が在籍している城北病院に就職しました。現在リハビリテーション科1年目です。ご指導よろしくお願い申し上げます。

外科



ためざわ ほずみ
為澤 帆純

4月から城北病院の外科で勤務しています。2年前まで初期研修で城北病院にいたので、初めましてではない方が多いかもしれません。たくさん声をかけていただけたら嬉しいです。普段は手術や内視鏡をしています。至らない点も多いかと思いますが、いつでもご相談ください。これからもよろしくお願い致します。

新 研修医 しょうかい

introduction



かわい ひょうご
河合 彪吾

こんにちは。4月から研修医として働いております河合彪吾です。病院での診療はもちろんですが、地域にも目を向け、地域の方々の健康を守るお手伝いができたらなと思います。まだ右も左もわからずご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、真摯に向き合い一生懸命頑張りますのでよろしくお願い致します。



まつい かずたか
松井 和孝

初めまして。新人研修医の松井和孝と申します。出身は大阪、大学は関東の聖マリアンナ医大卒です。趣味は釣り、アウトドアです。人見知りなのですが、話をするのは嫌いではないので、気兼ねなく話しかけていただけると幸いです。北陸での生活は初めてで雪の降る県も初めて住むので不安いっぱいですが、様々なことを学び頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。



わらしな たいき
藁科 太希

4月より城北病院の医局に配属されました、藁科太希と申します。出身地は静岡県富士市、年齢は30歳です。金沢という新しい環境でゼロからのスタートとなりますが、持ち前の明るさやチャレンジ精神を全面に出しつつ、臆することなく日々成長していきたいと思っています。右も左も分からないことばかりでご迷惑をおかけすることも多くあると思いますが、ご指導のほどよろしくお願い致します。